

5 土砂災害

土砂災害は、大雨が降ると山の急な斜面や地盤の緩くなった山肌が崩れて、土砂や木々が大量の水といっしょに襲いかかってくるもので、人が亡くなる割合が多い恐ろしい災害です。特に雨が1時間に20mm以上、降りはじめから100mm以上になると十分な注意が必要です。

(1) 土砂災害の種類と前兆



がけ崩れ



土石流



地すべり

突発的かつ短時間で起こる

がけ崩れとは、地中にしみ込んだ水が地盤を弱め、雨や地震などによって急激に斜面が崩れ落ちることです。

破壊力が大きく、速度が速い

土石流とは、山や谷の土砂が大雨などでくずれ、ものすごい勢いで流れてくることです。地方によって、「山津波」や「てっぼう水」などと呼ばれています。

緩やかな斜面でも起こる

地すべりとは、斜面が地下水の影響などによって滑りやすい地層を境にズルズルと斜面下方に移動する現象です。

斜面にひび割れができる。

わき水の量が増える。

がけに亀裂が入る。
がけから小石が落ちてくる。

雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。

地鳴りの音が聞こえてくる。

川が濁ったり、流木がまざり始める。

がけから出る水がにごる。

地面にひび割れができる。

斜面から水が噴き出る。

《 こんな前兆に注意してください！ 》

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。

また、土砂災害が発生する前には、様々な前兆現象が起こる時があります。上記の様な前兆現象に気づいたら、速やかに避難するとともに、市へご連絡ください。

(2) 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

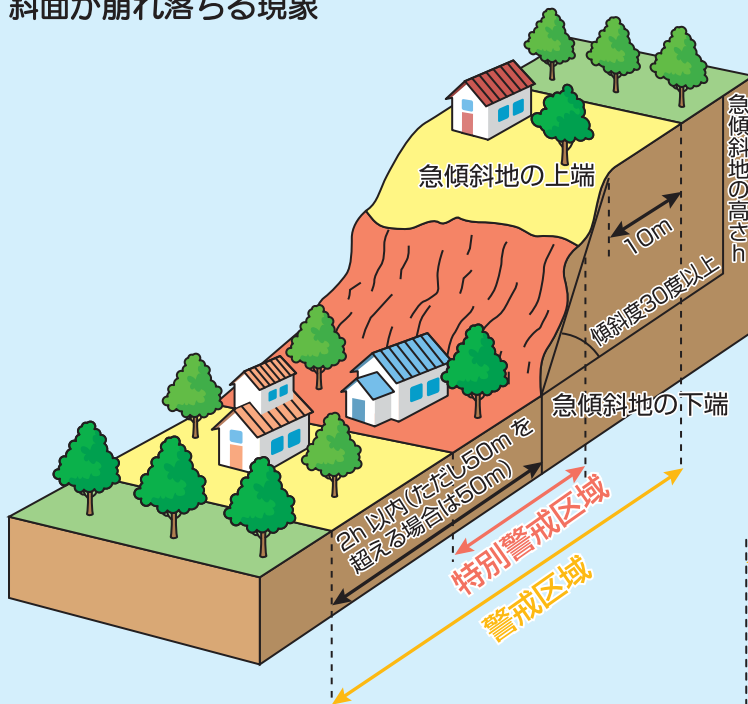
「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域」です。

土砂災害特別警戒区域

「土砂災害警戒区域のうち土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域」です。

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

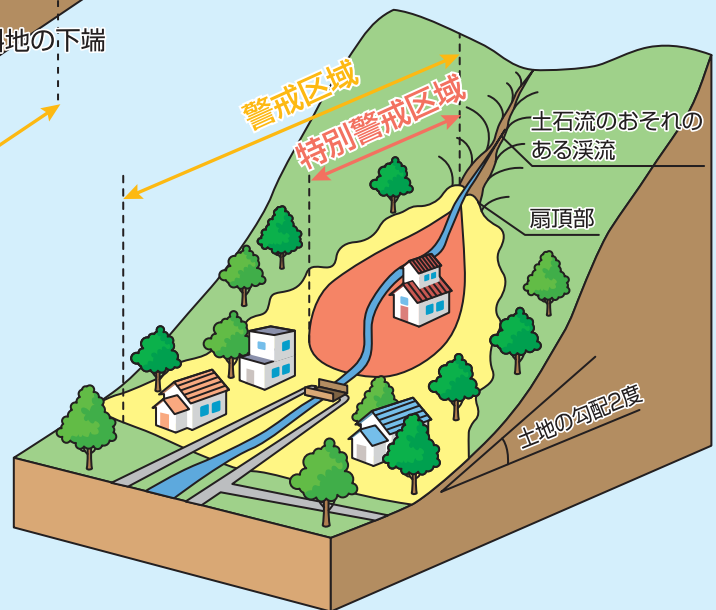
雨や地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象



土砂災害警戒区域などにお住まいの方は、大雨のときには警戒や避難が必要となりますので、避難勧告などの情報に注意してください。

土石流

山や川の土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象



※土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）発表中に土砂災害の危険性がさらに高まった場合に、気象台と福岡県が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、避難してください。

※土砂災害警戒情報が発表されていない場合でも、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、避難の判断を行なってください。

